

# 糖尿病治療薬オゼンピックについて

ノボルディスクファーマはこのほど、同社が開発した週1回投与のGLP-1受容体作動薬「セマグルチド」（製品名・オゼンピック皮下注）について、既存の類似薬と間接的に比較した解析結果を発表。セマグルチドは、HbA1cの改善度、体重減少効果について他剤を有意に上回る結果が示唆されました。



比較したのは同じGLP-1受容体作動薬で1日1回投与のリラグルチド（ビクトーザ）、週1回投与のデュラグルチド（トルリシティ）。HbA1cのベースラインからの低下率は、セマグルチドの0・5ミリグラム製剤が2.0%、同1・0ミリグラム製剤が2.29%、リラグルチド0・9ミリグラム製剤が1.19%、デュラグルチド0・75ミリグラム製剤1.39%でありました。体重減少効果は、セマグルチドが1.62キログラム、3.37キログラムで、リラグルチドとデュラグルチドを有意に上回る減少効果が示されました。

